

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2011年2月28日

112号

NPO法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

3活動ホームの連携でより充実した支援を

「げんき」新しい体制へ第一歩！



みぞれ交じりの雨を受けながら、送迎車から降りる障害者たちも、部屋に戻るとほっと一息。まだ温かいお茶が嬉しい季節ですが、クリスマスローズが花をつけはじめ、今年も、まだ浅いながら春になりました。皆さんお元気でしょうか。

* * *

さて、いよいよデイサービスの間、地域活動ホームの連結連合への取り組みがまとまり、3月の28日には、新法人の設立総会がもたれる事になりました。

新しい法人名は「げんき」と決まりました。

◇どのように変わるの？——変わることも変わらないこと——

23年度10月から港北区の「活動ホームしもだ」「ともだちの丘」そして鶴見区の「もとみや」の3カ所の地域活動ホームが連携して、新しい法人「げんき」のもとで、それぞれ運営委員会の役割や活動内容は変えずに、専門性も備えた福祉の拠点として出発します。（理事長＝薄井芳夫・活動ホームしもだ、副理事長＝横溝茂・ともだちの丘、上原京子・もとみや各運営委員長）

活動ホームしもだ運営委員会

*活動はいままでどおり

NPO 法人げんき

活動ホームともだちの丘運営委員会

“

(理事会11名)

活動ホームもとみや運営委員会

“

◇なぜ変えるの

今、社会一般の情勢は厳しさを増していますが、障害者や高齢者を取り巻く環境も、大変になっています。

特に、核家族化する傾向の中で、子どもたちを抱え困惑している若い子育て世代への支援や、高齢化に伴う対策の必要性は、障害者やその家族にとっても待ったなしの状態があります。また活動ホームという、横浜市独自の制度自体ももっとしっかりさせていかねばならない時にきています。

これまで各活動ホームも、頑張ってきましたが、現状のままではこれから先、新たな状況に対応するのが難しくなっています。そこで、近隣の活動ホームの数館が連携し、さらに力強く障害者たちの地域生活を支援していくことになりました。

すでに市内5館の活動ホームが、連結・連合に移行。2つの法人「新」と「コンチェルト」として活動してきました。これまでの各活動ホームでの独自性は尊重しつつ、お互いに共有する事務局などの新しい仕組みを作ることで、前向きなメリットが発揮され始めています。

現在の活動の良さは守りつつ、新しい試みをしながら、パワーアップして行く、まさに当事者と地域に密着した横浜の福祉のあり方として、進化させていきたいものです。

◇グループホームへの支援は

昨年から取り組み始めているグループホームへの支援について、2月28日に開かれた活動ホームしもだ理事会に、グループホーム3運営委員会から要望書を提出しました。地域活動ホームの「障害者の地域生活支援」の視点で、総務部門、職員の育成、緊急時の対応、相談、医療面などの支援等について、連携、支援、指導を要望したところです。理事会では、大筋で了承を得ました。今後話し合いと検討をしていく事になります。

新吉田地域交流バザーのお知らせ

時の流れは速いですね。

今年もグループホームの庭で、新吉田の地域の皆様のご協力を頂き『バザー・交流の集い』を行います。
みなさんご一緒にお楽しみいただければと思います。



日 時： 3月26日（土）午前10時30分～午後1時30分まで

会 場： よつばホームの庭

港北区新吉田町5623-1 TEL&FAX：592-7040
（綱島よりバス①番 中町下車 ガソリンスタンド裏）

内 容： 提供品の販売 衣料 雑貨 食品（お菓子、お赤飯、漬物など）
軽食コーナー（焼きそば、フランクフルト、おでん など）

*入れたてのコーヒーや 飲み物をサービスいたします。楽しいひと時をどうぞ！！

裏の公園の桜も、見ごろになるかも知れません...

* ご寄付ありがとうございました。 *

三上園東様がホームコンサートを催され、ご来場の皆様も含め、当 NPO 法人地域で生きる障害者を支える会にたいし、ご寄付を頂戴いたしました。心よりお礼申し上げます。



めがねの声

◆ボランティアの駒込さんのこと

私は、これまでいろいろな人たちに支えられてきました。とくにいま友だちと思っ
ている人も、多くは、はじめボランティアさんでした。今月は、懐かしいボランティアさんの
ことを書こうと思います。

* * *

養護学校を卒業した後、私は七沢にある神奈川リハビリセンターに1年2カ月入りました。
そのとき、生活の練習と勉強の時間がありました。ボランティアの頼み方や、外出の時の服
装、時間の使い方などを勉強しました。私はセンターを出ると、すぐ、教えられたとおり、
社会福祉協議会へボランティアを紹介して欲しいとたのみに行きました。

その時の職員さんは「サークルと一緒に活動しながら見つけたらどうかな」と言いました。
初めて参加したところは「みんなの会」で、ボラさんたちといろいろな障害のある人たちの
集まりでした。お茶会や、宿泊もしたり、奈良や、大震災の前の神戸にも旅行にいきました。
眼や聴覚の障害者もいて、手話や手話コーラスも勉強しました。

私は言葉が出ないので、手話をやってみたくて少し覚え始めましたが、だんだん難しくな
って、手話はやめる事になりました。手が不自由でサインや指の動作ができないからでした。
でも、今でもとても少しですが自然とつかえる言葉もあります。そのときに教えてくれたの
がボランティアの駒込さんでした。「みんなの会」は、皆が忙しくなったのか、ボランティ
アさんの数が少なくなって解散になりました。

* * *

駒込さんはそれから、「手話サークル」だけでなく、港北ふれあい委員会で「クレヨンの
夢」展覧会や「ふれあい運動会」のスタッフだったり、送迎の仕事をたのまれたり、グルー
プホームにいる人を助けたり、いろいろとボランティアで忙しく活躍していました。

私は、あちらこちらでよく会いました。

会うたびに、私に「友子、詩を書け」「詩を書いているか」と励ましてくれていました。
去年の7月には、「ギャラリーかれん」でやった私の作品展にきてくださって「もう自分も年
だからね... 友子のグループホームの近くの施設に入るんだ」と話していました。

それから間もなくだったころ、自分の部屋で一人でなくなってしまうそうです。
駒込さんは病気でした。私も母も驚いて、ずっと力を落としていました。

しかってくれる人が一人いなくなって、とても寂しいです。

* * *

この前、「ギャラリーかれん」の抽選会がありました。私は、また来年頑張って作品展をや
ろうとおもいます。

大原友子

今月のよつばホーム

よつばホーム

寒気も少しずつ緩みはじめましたが、みなさまいかがお過ごしですか。

今年もまた節分がやってきました♪ よつばホームでの鬼退治の様子を紹介します♪

* * *

寒さが身にしみる二月三日。今日は節分です。

いつものようにグループホームに帰り、送迎車を降りると鬼のお面をつけた職員がお出迎え。

「鬼はあ外！福はあ内！」みんなで声を合わせ豆をまきました。

次郎さんはサウスポーから繰り出される剛速球で、花岡さんは照れながら、勢津子さんは職員と一緒に。みんなで力を合わせて鬼をやっつけました！

鬼退治をしたあとはお茶の時間です。

お茶うけには豆が♪ 歳の数の豆が・・・(;^ω^A

この日もゆっくり過ごしました。

* * *

2/11 の建国記念日に勢津子さんが買い物へ出かけました。行き先は港北阪急です。

当日の天気はなんと雪・・・。道に積もる様子がなさそうで、買い物予定を縮小して出発♪

前日から楽しみにしていたこともあって、買い物中、終始楽しめた様です。ショッピング後はGHに戻り、宏さんの誕生日ケーキ作りのためパティシエモードに切りかえ♪ 充実した休日を過ごしました。



第2よつばホーム

昼間は暖かくなりましたが、まだ寒い日が続いていますね。

第2よつばのみんなも元気に過ごしています。

2月11日は山田宏さんの誕生日でした。祝日ということもあり、よつばのみんなで作ってくれました。

作ってくれた誕生日ケーキでお祝いをしました。あいにく章子さん、友子さんは不在でしたが、阿部さんとスタッフで山田さんの誕生日をお祝いしました。

「ハッピーバースデー」とお祝いをし、ケーキを美味しくいただきました。山田さんも笑顔でいただきました。

阿部さんも美味しいケーキが食べられて満足したようです。スタッフもこの笑顔を見るたび疲れもどこへやらです。まだまだ寒い日が続きますがみんな元気に過ごしています。

